



- 定期代 取り過ぎた
- GW日当たり良好
- お手軽バーベキュー
- 北京五輪まで100日
- ◀ リンリン しばらく休みます

—光と空気と水を生かす—
ダイタン

教養大学(2004年開学)
の講義室。米国人のドン・
ニルソン特任教授が日本人
学生7人を前に熱っぽく語
る。英語の哲学授業。「メ
タフィジクス(形而上学)
」「エシクス(倫理学)」と
いった言葉が飛び交う。学
生は教授の話を理解しよう
と食らいついている。

秋田空港近くにある国際
教養大学(2004年開学)
の講義室。米国人のドン・
ニルソン特任教授が日本人
学生7人を前に熱っぽく語
る。英語の哲学授業。「メ
タフィジクス(形而上学)
」「エシクス(倫理学)」と
いった言葉が飛び交う。学
生は教授の話を理解しよう
と食らいついている。

秋田空港近くにある国際
教養大学(2004年開学)
の講義室。米国人のドン・
ニルソン特任教授が日本人
学生7人を前に熱っぽく語
る。英語の哲学授業。「メ
タフィジクス(形而上学)
」「エシクス(倫理学)」と
いった言葉が飛び交う。学
生は教授の話を理解しよう
と食らいついている。

日本の知力

<1面続き>

語ができないというコンプレックスから日本人を解放する必要がある。

そうしなければ、日本の知力は、相対的に下がるばかりだ。私自身は、英語に加え、できればアジア系言語を第2外国語とする「3

■識者に聞く

国際教養大学学長

なかじまみねお嶺雄氏

言語主義が理想だと思う。日本の英語教育は、1873年（明治6年）設立の東京外國語学校（現・東京外大）が基礎を築いた。当時、英語科はかなりの人気で新渡戸稻造や岡倉天心、内村鑑三らが学んだ。そして、グローバル化という歴史的变化が起きた。そうした時代の知力は、文字通りグローバルな知力でなければならぬだろう。

英語は、その变化の中で、国際共通語としての地位を固めた。国民の英語力は、もはや国際関係の中で、国力をはかる一つの指標と言える。一般市民も含めて英



1936年長野県生まれ。60年東京外大卒。社会学博士。95年東京外大学長。2004年国際教養大理事長・学長。著書に「北京烈烈」「国際関係論」など多数。

て、すばらしい英語力を身につけた。新渡戸は「武士道」、岡倉は「茶の本」、内村は「代表的日本人」といっても英語で日本の思想を語った。

彼らはいわゆる「お雇い外国人」から、英語で英語を学んだ。だが、英語教育はその後、文法などが重視される「英語学」となり、戦後教育へと続いた。「生きた英語」を英語で学ぶという意味では、現在は原点回帰の兆しがあると言えるだろう。

新渡戸らは優れた教養人でもあった。大学ではこれまで専門性を重視する一方、知の土台となる教養を軽視してきた。そのため知に対する新たな挑戦もなくなっていた。本当の知力は、

狭い専門知識ではなく、より幅広い教養にある。大学では教養と外国语の表現力を身につけ、大学院では専門知識を学ぶ時代だ。

外国语を学ぶことは、日本語を大切にすることと矛

盾しない。欧州では今、外国语を学ぶことで自らの母国語がより相対化され、磨きかかるという考え方があがっている。外国语習得が知的生活を充実させるという認識だ。

大学の役割は大きい。確かにインターネットは普及したが、遠隔授業だけで事足りるはずがない。知は、相対する人の直接の反応があつて初めて磨かれる。知的共同体としての大学の存在意義は、決してなくならない。（聞き手・寺口亮一）

排出量取引市場 東証「来年中に」

東京証券取引所は28日、温室効果ガスの排出量取引市場を、2009年中に創設する計画を発表した。排出量取引の方法は、先進国に温室効果ガスの削減義務を課した「京都議定書」に基づく仕組みを軸に検討